

読谷・瀬名波に 分譲型ホテル

19年開業予定地で起工式
【読谷】読谷村瀬名波で
2019年初頭の開業を予
定する分譲型ホテル「グ



ンデイスไตล์沖繩読谷ホ
テル&リゾート」の起工式
が15日、建設予定地で開か
れた。約4295平方メートル
敷地に4階建て54室を整備
し、18年1月をめどに各部
屋の販売を始める。

レストランやプール、カ
フェ、バーなども設け、
「大人が楽しむ、沖縄のリ
ゾート」として16歳以上の
2人組を利用対象に狙う。

工事を発注したIMDア
ライアンス（福岡県）の麻
生宏代表は「読谷村は文化
が充実した地域だ。大型施
設が多い中、小型だからこ
そでできる大人のリゾートを
つくりたい」と話した。ホ
テルを運営するKPGホテ
ル&リゾート（読谷村）の
田中正男社長は「他のホテ
ルに負けない施設にした
い」と意気込んだ。

くわを入れる（左から）大城社司大
晋建設社長、中村久二ゼン環境設計
社長、麻生宏 IMDアライアンス代
表、徳永修一丸電工沖繩支店長。15
日、読谷村瀬名波（KPGホテル&
リゾート提供）

分譲型ホテル 読谷で地鎮祭 グランディスタイル

【読谷】県内外でホテルや旅館を運営するカトープレジャーグループ傘下の「IMDアライアンス」(福岡市、麻生宏CEO)が読谷村瀬名波に建設する分譲型リゾートホテル



くわ入れする(左から)大晋建設の大城壮司社長、ゼン環境設計の中村久二社長、IMDアライアンスの麻生宏CEO、九電工の徳永修一沖縄支店長。15日、読谷村瀬名波

ル「グランディスタイル沖縄読谷ホテル&リゾート」の地鎮祭が15日、関係者を集め、建設敷地内で開かれた。

東シナ海を望む約4300平方メートルの土地に「大人が楽しむ」をコンセプトにした4階建て全54室。レストランやバー、バーなどもあり、延べ床面積は約5300平方メートルとなる。運営はKPGホテル&リゾート(同村、田中正男社長)が担う。

2018年1月末から部屋のオーナーを募集し、オープンは19年春を予定。麻生CEOは「読谷との縁があったことをうれしく思う。大人が楽しむリゾートにしたい」と話した。